

web 講習会：動力学・MBD・振動を学ぼう_2025 後半 1
(2025 年 7 月～2025 年 12 月)

ねらい: ものづくりのための動力学・MBD(マルチボディダイナミクス)・振動の基礎力と解析力を高める。
運動する物体の運動方程式の立て方と解き方を学ぶ。技術者教育のための社内教育に
最適です。

コース:

・コース基本単位 3 コマ* (3 時間) を基本単位とします。 (* 1 コマは 1 時間)

・コースのレベルと料金	初級コース料金 (3 時間)	6,600 円/人 (消費税込)
	中級コース料金 (3 時間)	9,900 円/人 (消費税込)
	上級コース料金 (3 時間)	13,200 円/人 (消費税込)
	受講者要望コース料金 (3 時間)	20,900 円/人 (消費税込)

コースは下記の「[コース内容組立](#)」と「[コース内容一覧](#)」に記載されていますのでご覧ください。
各コースの料金は下記の「[コース内容一覧](#)」に記載されていますのでご覧ください (料金改訂
2024.12.01)。

・コース時間割 (1) 予め時間割が決められたコース ; 開催日の午後 14 時～17 時

コース開催日時一覧表: 別添の Excel ファイル「[コース日時割 : 動力学・
MBD・振動を学ぼう_2025 後半 1 \(2025 年 7 月～2025 年 12 月\)](#)」
に掲載。

(2) 時間割を参加者の希望を反映してきめるコース

上記(1)での受講が困難な場合には、別途ご相談下さい。例えば 空いている曜
日で; 午前コース 9:30-12:30, 午後コース 14:00-17:00, 夜間コース
19:00-22:00 などに設定。

(3) 出前出張コース

ご希望により現地に出張講義をいたします。日時、時間割、料金等は別途ご相談
下さい。

・講師 : 清水信行、他

・相談連絡先; nobushim@motionlabo.com 担当者 清水 信行(株)モーションラボ

コース内容組立:

各コースはつぎの(a)～(e)で分類されています。このなかから希望に合うコースをお選び下さい。

(a) MBD を学ぶための準備コース (サブコースの数)

1. A コース; マルチボディダイナミクスのための基礎数学 (2) (初・中級)
2. D コース; 柔軟マルチボディダイナミクスのための基礎連続体力学 (4) (初・中級)
3. E コース; 柔軟マルチボディダイナミクスのためのはり理論の基礎 (2) (初・中級)

(b) 剛体 MBD を学ぶコース* (サブコースの数)

4. B コース; 剛体マルチボディダイナミクスの平面理論 (4) (初級)
5. C コース; 剛体マルチボディダイナミクスの 3 次元理論 (6) (初・中級)

(c) 柔軟 MBD を学ぶコース** (サブコースの数)

6. F コース; FFRF による柔軟マルチボディダイナミクスの線形はり理論 (3) (中級)
7. G コース; ANCF による柔軟マルチボディダイナミクスの平面はり理論 (2) (中級)
準備中 (お問い合わせください)
8. H コース; GEBF による柔軟マルチボディダイナミクスの平面はり理論 (2) (中級)

(d) 中・上級柔軟 MBD を学ぶコース*** (サブコースの数)

9. I コース; 柔軟マルチボディダイナミクスの GEBF による 3 次元理論 (3) (上級)
10. N コース; 柔軟マルチボディダイナミクスの ANCF による 3 次元理論 (2) (上級)
準備中 (お問い合わせください)
11. J コース; ひも、ロープなどの柔軟 MBD 実務問題の理論 (要望コース)

(e) 機械振動を学ぶコース* (サブコースの数)

12. K コース; 機械振動の基本概念・線形周波数応答・一般応答特性 (5) (初級)
13. L コース; 機械振動のマトリクス理論と固有振動数・モード形状 (5) (初・中級)
14. M コース; 機械振動の応答関数理論と応答計算への適用 (5) (初・中級)
15. O コース; 機械振動の離散応答計算と対称マトリクスを有する系 (3) (中級)

* A コースのなかの A1 コースを学んでから受講するのが望ましい。

** E コースのなかの E1, E2 コースを学んでから受講するのが望ましい。

*** A コースのなかの A2 コースおよび D コースを学んでから受講するのが望ましい。

コース内容一覧:

1. A コース; マルチボディダイナミクスのための基礎数学 (初級・中級)

剛体および柔軟体のマルチボディダイナミクスを学習するための数学の基礎を学ぶ。

A1 は剛体マルチボディダイナミクスの準備コース, A2 は柔軟マルチボディダイナミクスの準備コース
各サブコース単体でも受講可能です。

テキスト : 講師が作成したテキストを pdf file にて配布

A コース サブコース. タイトル	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
A1. 数学の基礎-1	3	6,600	ベクトルとマトリックス入門 ; 基準枠と座標、ベクトル、幾何ベクトルと代数ベクトル、内積、外積、基底ベクトル、マトリックス、ベクトルとマトリックスの演算と微分、例題と演習
A2. 数学の基礎-2	3	9,900	テンソル入門 ; 基底ベクトル、2 階のテンソル、テンソル積、テンソルの線形変換、ベクトルとテンソルの不変量、正規直交テンソル、線形化と方向微分、テンソル解析、勾配と発散、積分定理、例題と演習

2. D コース; 柔軟マルチボディダイナミクスのための基礎連続体力学 (初・中級)

柔軟体のマルチボディダイナミクスのための連続体力学の基礎を学ぶ。

テキスト : pdf file にて配布 (J. Bonet & R. D. Wood の本を基に講師が作成)
各サブコース単体でも受講可能です。

D コース サブコース, タイトル (本の章・節との対応)	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
D1. 連続体力学の準備-1 (3.1 節～3.9 節)	3	6,600	運動とひずみ ; 運動、物質記述と空間記述、変形勾配テンソル、ひずみ、極分解、体積変化、変形勾配のゆがみ成分、面積の変化
D2. 連続体力学の準備-2 (3.10 節～3.15 節)	3	9,900	線形化運動学と時間変化率 ; 線形化された変形勾配、速度と物質時間変化率、変形の時間変化率、スピンテンソル、体積の時間変化、剛体回転と客観性
D3. 連続体力学の準備-3 (4 章前半)	3	6,600	応力と釣り合い ; コーシー応力、釣り合い、仮想仕事の原理、仕事の共役性、代替応力テンソル、応力の時間変化率、客観応力の時間変化率
D4. 連続体力学の準備-4 (4 章後半)	3	9,900	ひずみと応力の例題と演習 ; 一軸運動、一様変形、グリーンとアルマンジひずみ、極分解、体積成分とゆがみ成分、物質時間変化率、自重下のブロック、第 2 Piola-Kirchhoff 応力テンソルの客観性

* できれば、J. Bonet & R. D. Wood の本を購入して受講して下さい。

Javier Bonet & Richard D. Wood, Nonlinear continuum mechanics for finite element analysis, Cambridge University press, 1997.

3. Eコース; 柔軟マルチボディダイナミクスのためのはり理論の基礎 (初・中級)

微小ひずみ線形はり理論の FEM による定式化の基礎と 2 次元と 3 次元はりモデルの実務的なはり理論を学び FEM による数値的な解析法と計算法の基礎を学ぶ。

テキスト : pdf file にて配布 (鷲津久一郎の本と C. S. Krishnamoorthy の本を基に講師が作成)
各サブコース単体でも受講可能です。

Eコース サブコース. タイトル	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
E1. はり理論の基礎-1	3	6,600	2次元はり理論 ; エネルギー法、計算例題 ; 初等はり理論、Bernoulli-Euler はり、変位法、要素剛性マトリックス、エネルギー原理による要素剛性マトリックス、レーリー・リッツ法、最小ポテンシャルエネルギーの原理。トラス要素、2次元はり要素の剛性および質量マトリックス
E2. はり理論の基礎-2	3	9,900	2次元はり理論つづきと 3次元はり理論 ; 2次元はりの変換マトリックス、2次元はりの計算例。 3次元はり要素、ねじり、3次元はり要素の剛性および質量マトリックス、3次元はりの変換マトリックス

* できれば、鷲津久一郎の本と C. S. Krishnamoorthy の本を購入して受講して下さい。

- (1) 鷲津久一郎、有限要素の基礎と応用シリーズ 3 エネルギー原理入門 培風館、1980 年初版、1991 年 初版第 7 刷発行。
- (2) C. S. Krishnamoorthy, Finite Element Analysis Theory and Programming, Tata McGraw-Hill Publishing Company Limited, First Reprint, 1995.

4. Bコース; 剛体マルチボディダイナミクスの平面理論 (初級)

2次元平面問題のマルチボディダイナミクスの理論を学び定式化できるようにする。

このコースはA1コースを学んでから受講するのが望ましい。

テキスト：講師が作成したテキストを pdf file にて配布
各サブコース単体でも受講可能です。

Bコース サブコース、タイトル	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
B1. 2次元キネマティクス-1	3	6,600	剛体の運動学； 質点の運動学、剛体の運動学、物体の座標、物体の速度、物体の加速度、座標と自由度、拘束式、いろいろなジョイント、回転ジョイント、並進ジョイント、歯車のペア、カム、例題と演習
B2. 2次元キネマティクス-2	3	6,600	基準枠によるジョイント拘束式の記述； モデル化と定式化の手順、ジョイントの種類、ジョイントの拘束方程式、回転ジョイント、並進ジョイント、駆動拘束、速度と加速度拘束のヤコビアン、機械システムのヤコビアン構成法、例題と演習
B3. 2次元ダイナミクス-1	3	6,600	剛体の動力学； 質点と質点系のダイナミクス、剛体のダイナミクス、並進運動方程式、回転運動方程式、質量と慣性モーメント、作用力、力要素、反力、ラグランジュ乗数法、例題と演習
B4. 2次元ダイナミクス-2	3	6,600	拘束のある機械システムの運動方程式の記述； 拘束のない剛体、拘束された剛体、拘束のない剛体系、拘束された剛体系、機械システムの運動方程式の構成法・記述法、反力、可変振り子、ピストン・クランク機構、例題と演習

5. Cコース; 剛体マルチボディダイナミクスの3次元理論 (初・中級)

3次元の空間問題に対するマルチボディダイナミクスの理論を学び定式化できるようにする。

テキスト：マルチボディダイナミクス(1) —基礎理論— コロナ社の本
を基に講師が作成した資料を pdf file にて配布
各サブコース単体でも受講可能です。

Cコース サブコース. タイトル (本の章との対応)	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
C1. 3次元キネマティクス-1 (3章と4章)	3	6,600	座標と自由度および位置と姿勢 ; 座標と自由度、一般化座標、拘束、直交座標と拘束、座標変換、座標変換マトリックス、位置と位置ベクトル、回転姿勢の表現、回転の角度表現
C2. 3次元キネマティクス-2 (5章)	3	6,600	角速度・速度および角加速度・加速度 ; 角速度、座標変換マトリックスの時間微分と角速度、角速度ベクトルの性質、速度、角速度と回転角の時間微分、角加速度
C3. 3次元キネマティクス-3 (7章と8章)	3	9,900	仮想変位と変分および剛体系の拘束式 ; 仮想変位と仮想回転、速度と角速度の変分量、二つのベクトル間の拘束式、二つの物体間の拘束式、球ジョイント、回転ジョイント、絶対拘束、駆動拘束、拘束式の導関数
C4. 3次元ダイナミクス-1 (10章)	3	6,600	力学の基本特性 ; 質量の幾何、慣性マトリックス、運動量、角運動量、力とトルク、力要素、ばね、ダンパ、アクチュエータ、接触・摩擦
C5. 3次元ダイナミクス-2 (11章)	3	9,900	ダランベールの原理とラグランジュの方程式 ; 仮想仕事、仮想仕事の原理、一般化座標と一般化力、ダランベールの原理、ラグランジュの方程式、拘束のあるラグランジュの方程式
C6. 3次元ダイナミクス-3 (13章)	3	9,900	多体系の運動方程式 ; 剛体のダイナミクス、多剛体系のダイナミクス、拘束のない多剛体系、拘束のある多剛体系の変分方程式、拘束のある多剛体系の運動方程式、ラグランジュ乗数

できれば、マルチボディダイナミクス(1) —基礎理論— を購入して受講して下さい。

日本機械学会編、マルチボディダイナミクス(1) —基礎理論—、コロナ社、2006年初版発行。

6. F コース; FFRF による柔軟マルチボディダイナミクスの線形はり理論 (中級)

rev.2023.12.02

浮動基準枠法 (FFRF) による 3 次元線形はりのマルチボディ理論を学ぶ。その特徴を学び適用性を理解する。

テキスト : pdf file にて配布 (A. A. Shabana の本 Dynamics of Multibody Systems, 2nd ed., を基に講師が作成)

各サブコース単体でも受講可能です。

Fコース サブコース. タイトル (本の章・節との対応)	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
F1. FFRF によるはり-1 (5.1, 5.2, 5.3 節途中 まで)	3	9,900	浮動参照枠法の運動学 ; 運動学の記述、Rayleigh-Ritz 近似、浮動参照 枠、速度式、加速度式、柔軟体の慣性、質量マトリッ クス、空間内の運動、平面運動、一般化力、一般化 弾性力、例題
F2. FFRF によるはり-2 (5.3 つづき, 5.4, 5.5, 5.6, 5.7 節途中まで)	3	9,900	浮動参照枠法の動力学 ; 一般化外力、一般化弾性力、例題、運動学的拘 束、運動方程式、2 次速度ベクトル、一般化ニュート ン・オイラー方程式、弾性動力学理論、マルチボディ系 への応用例、仮定変位場、連接棒の質量マトリックス、 弾性力
F3. FFRF によるはり-3 (5.7 つづき, 5.8, 5.9, 5.10 節)	3	9,900	浮動参照枠法の応用例と数値手順 ; マルチボディ系への応用例の続き、外力、拘束方程 式、2 次速度ベクトル、未定乗数を用いた動的方程 式、数値手順、一般化座標分割法、独立座標と従 属座標、埋め込み技法

できれば、A. A. Shabana の本 Dynamics of Multibody Systems, 2nd ed.を購入して受講して下さい。

A. A. Shabana, Dynamics of Multibody Systems, Second Edition, Cambridge University Press, 1998.

7. G コース; ANCF による柔軟マルチボディダイナミクスの平面はり理論 (中級)

絶対節点座標法(ANCF)による2次元平面(せん断)はりの理論を学ぶ。その特徴を学び適用性を理解する。

テキスト : pdf file にて配布 (A. A. Shabana の本と K. Nachbagauer らの 2011 年の論文を基に講師が作成)

各サブコース単体でも受講可能です。

G コース 暫定 サブコース. タイトル	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
G1. ANCF によるはり-1	3	9,900	絶対節点座標法(ANCF)の考え方 ; 絶対座標、運動エネルギーと質量マトリックス、変形、 はり理論、Bernoulli-Euler はり、Timoshenko はり、 アイソパラメトリック、剛性マトリックスの定式化、運動 方程式、一般化外力、FFRF との関係、整合質量、 速度変換、例題と演習
G2. ANCF によるはり-2	3	9,900	非線形の構造棒理論と ANCF ; FEM アイソパラメトリック、はりの軸座標と横座標に対 する導関数、節点変位の ANCF、形状関数、ひずみエ ネルギー、変形勾配テンソル、一般化弾性力、剛性マ トリックス、Reissner、Simo、Vu-Quoc に基づく定式 化、数値例題、3次元への発展

できれば、A. A. Shabana の本と K. Nachbagauer らの論文を入手して受講して下さい。

- (1) A. A. Shabana, Dynamics of Multibody Systems, Second Edition, Cambridge University Press, 1998.
- (2) K. Nachbagauer, A. S. Pechstein, H. Irschik and J. Gerstmayr, A new locking-free formulation for planar, shear deformable, linear and quadratic finite elements based on the absolute nodal coordinate formulation, Multibody Systems Dynamics, 26: 245-263 (2011).

8. H コース; GEBF による柔軟マルチボディダイナミクスの平面はり理論 (中級)

Simo の幾何学的に厳密なはりの定式化法(GEBF)による 2 次元平面せん断はりの理論を学ぶ。その特徴を学び適用性を理解する。

テキスト : pdf file にて配布 (J. C. Simo の 2 次元柔軟はりの論文の Part 1 と Part 2 を基に講師が作成)

各サブコース単体でも受講可能です。

H コース サブコース. タイトル	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
H1. GEBF によるはり-1	3	9,900	幾何学的に厳密なはりの定式化法(GEBF)の考え方 ; 微小ひずみ古典理論、浮動枠法; 基礎運動学的仮定、ポテンシャルエネルギー、運動エネルギー、運動方程式、慣性項の連成。 GEBF; 基本運動学的仮定、運動エネルギー、ポテンシャルエネルギー、運動方程式、非連成慣性項
H2. GEBF によるはり-2	3	9,900	数値解析法 ; Galerkin 法、運動方程式の弱形式、空間離散化、時間ステップ法、時間離散化、陰解法、陽解法、数値シミュレーション、ロボットアームの例、flying spaghetti の例、マルチボディダイナミクスの例、スピンアップ操作、片持ちはりの減衰有限振動

できれば、J. C. Simo の 2 次元柔軟はりの論文の Part 1 と Part 2 を入手して受講して下さい。

- (1) J. C. Simo and L. Vu-Quoc, On the Dynamics of Flexible Beams Under Large Overall Motions – The Plane Case: Part I, Journal of Applied Mechanics, Dec. 1986, Vol. 53, 849-854.
- (2) J. C. Simo and L. Vu-Quoc, On the Dynamics of Flexible Beams Under Large Overall Motions – The Plane Case: Part II, Journal of Applied Mechanics, Dec. 1986, Vol. 53, 855-863.

9. I コース; 柔軟マルチボディダイナミクスの GEBF による 3 次元理論 (上級)

Revised 2023.08.04

3次元マルチボディダイナミクス問題におけるSimoの幾何学的に厳密なはり理論と解析法を学ぶ。実問題への適用を学ぶ。

テキスト : pdf file にて配布 (J. C. Simo の 3 次元柔軟はりの論文の Part 1 と Part 2⁽¹⁾を基に講師が作成)

I コース 暫定版 単元とタイトル	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
I 1. Simo のはり理論 ; キネマティクスとダイナミクス	3	13,200	Simo のはり理論の基本的な考え方と理論-1 ; 準備としての固体力学の基礎。 ... Bonet ⁽²⁾ はりの基礎運動学、移動基底、移動基底の導関数、 変形勾配、ひずみ計量、線及び角運動量、力とトルク、 強形式の運動方程式。 ... Simo3D Part1
I 2. 仮想仕事の原理と線 形化	3	13,200	Simo のはり理論の基本的な考え方と理論-2 ; 弱形式の釣り合い方程式と仮想仕事、内力・慣性力・ 外力の仮想仕事、構成方程式、ひずみ合応力の線形化、 仮想仕事の線形化の手順、内力・慣性力の線形化。 ... Simo3D Part2 前半
I 3. 有限要素法によるつり 合い方程式の定式化	3	13,200	FEM によるアプローチ ; 離散化と有限要素配列、つり合い力の計算、つりあ い方程式、つり合い方程式の解法と手順、接線剛性 マトリックス、接線質量マトリックス、ひずみベクトルと 内力ベクトル。 ... Simo3D Part2 後半 FEM による解析プログラムの一般的な説明と簡単な 数値例題。 ... lecture note

- (1) J.C. Simo, A Finite Strain Beam Formulation. The Three-Dimensional Dynamic Problem. Part I , Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering 49 (1985) 55-70 North Holland. および J.C. Simo & L. Vu-Quoc, A Three-Dimensional Finite-Strain Rod Model. Part II: Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering 58 (1986) 79-116 North Holland.
- (2) J. Bonet and R. D. Wood, Nonlinear continuum mechanics for finite element analysis, Cambridge University Press, 1997.

10. Nコース; 柔軟マルチボディダイナミクスの ANCF による 3 次元理論 (上級)

日程調整中 ご希望の方はお問い合わせください。 nobushim@motionlabo.com

3 次元マルチボディダイナミクス問題における非線形はりの ANCF による解析法を学ぶ。実問題への適用を学ぶ。

テキスト : pdf file にて配布 (K. Nachbagauer の 2013, 2014 年の 3 次元せん断はりの ANCF 論文の 2 編を基に講師が作成)

各サブコース単体でも受講可能です。

N コース 暫定 サブコース. タイトル	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
N1. ANCF による非線形はりの 解析理論-1	3	13,200	ANCF の基本的な考え方とその発展理論 -1; ANCF はりの運動学、弾性力; 標準と改良連続体 力学による定式化、Simo のアプローチによる定式化、 質量マトリックス、数値例題 ; 片持ちはりの変形、曲 げ問題、ねじり問題、はりの振動
N2. ANCF による非線形はりの 解析理論-2	3	13,200	ANCF の基本的な考え方とその発展理論 -2; 1 次と 2 次の ANCF はり有限要素、弾性力; 標準 と改良連続体力学による定式化、Simo のアプローチ による定式化、質量マトリックス、拘束方程式、数値 例題 ; はりのバックリング、剛・柔 2 重振子

できれば、K. Nachbagauer の 2013, 2014 年の 3 次元せん断はりの ANCF 論文の 2 編を入手して受講して下さい。

- (1) Karin Nachbagauer, Peter Gruber and Johannes Gerstmayr, Structural and Continuum Mechanics Approaches for a 3D Shear Deformable ANCF Beam Finite Element: Application to Static and Linearized Dynamic Examples, Journal of Computational and Nonlinear Dynamics, ASME, APRIL 2013, Vol. 8 / 021004-1.
- (2) Karin Nachbagauer and Johannes Gerstmayr, Structural and Continuum Mechanics Approaches for a 3D Shear Deformable ANCF Beam Finite Element: Application to Buckling and Nonlinear Dynamic Examples, Journal of Computational and Nonlinear Dynamics, ASME, JANUARY 2014, Vol. 9 / 011013-1.

11. Jコース; ひも、ロープなどの柔軟 MBD 実務問題の理論 (要望コース)

ひも、ロープなどの柔軟実務問題のアプローチ法を柔軟マルチボディダイナミクスの理論を通して講義と質疑応答形式で学ぶ。社内で抱えている問題解決に適切です。ものづくりの数値解析技術支援に最適です。

その他、実際に現場で遭遇する振動・構造などのトラブルシューティングや原因究明を含む動的問題の解決の相談にも応じます。

要望に応じて個別開催を行います。技術ノウハウの観点から企業単独での実施を基本とします。問題を一般化して、複数企業の技術者の参加の下での開催も希望があれば検討いたします。要望コースがあればお問い合わせください。

(2024 年 12 月 1 日料金改定)

web 講習会の料金	; 3 コマ (3 時間)	1 人	20,900 円 (消費税込)
(同一企業の場合)	グループ受講	2 人まで	39,710 円 (消費税込)
		3 人まで	56,430 円 (消費税込) (18,810 円/人)
		5 人まで	88,825 円 (消費税込) (17,765 円/人)

出前技術指導の料金 ; 1 日 (5 時間) 99,000 円 (消費税込) + 講師旅費

12. Kコース; 機械振動の基本概念・線形周波数応答・一般応答特性 (初級)

機械振動の解析法の学習のための準備として基礎事項; 基本概念、線形周波数応答、一般応答特性、などを学ぶ。これをもとに現場で遭遇する振動問題の解決に役立てる。

テキスト : オーム社、機械振動の解析と計算 D.E.Newland 著、清水信行訳 *
の本(p.1～98)を基に講師が作成。pdf file にて配布

各サブコース単体でも受講可能です。

Kコース サブコース. タイトル (使用する本のページ) ページ数	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
K1. 基本的な概念 (1～16) 16 ページ	3	6,600	1 自由度振動系の基本的な概念 ; 1 自由度に対する一般解、定常調和応答、周波数 応答関数の部分分数展開、負の振動数、根軌跡線 図、インパルス応答、繰り返し固有値となる特別な場 合、例題と演習
K2. 線形振動系の周波数 応答-1 (17～37) 21 ページ	3	6,600	周波数応答関数の基礎理論 ; 周波数応答関数の一般形、振動絶縁の例、対数 および極表示、一般的な部分分数展開、複素固有値 の場合の展開、無減衰応答の数値例題
K3. 線形振動系の周波数 応答-2 (37～55) 18 ページ	3	6,600	周波数応答関数の応用 ; 数値例題; 無減衰応答のモード形状、減衰応答、 減衰応答の対数と極座標、繰り返し固有値がある場 合の部分分数展開、複合系の周波数応答、例題
K4. 振動応答の性質-1 (57～77) 21 ページ	3	6,600	振動応答の用語と基礎理論 ; 周波数応答関数に関する用語、対数応答線図、リ セブタンス、モビリティ図、減衰の指標、対数減衰率、バ ンド幅、エネルギー逸散、モードエネルギー
K5. 振動応答の性質-2 減衰を含む振動と発展 理論 (77～98) 22 ページ	3	6,600	減衰系の振動応答と発展理論 ; 比例エネルギー損失、粘弾性要素の損失角、ヒステ リシス減衰を有する強制調和振動、数値例題、共振 振動の成長する時間、共振点通過加速度

* できれば、各自、オーム社、機械振動の解析と計算 D.E.Newland 著、清水信行訳、1992.
の本を購入して受講して下さい。

13. Lコース; 機械振動のマトリックス理論と固有振動数・モード形状 (初・中級)

機械振動の解析法の学習としてマトリックスによる定式化、応答解析と固有解析を学ぶ。これをもとに現場で遭遇する振動問題の解決に役立てる。

テキスト : オーム社、機械振動の解析と計算 D.E.Newland 著、清水信行訳 *
の本(p.99~184)を基に講師が作成。pdf file にて配布

各サブコース単体でも受講可能です。

Lコース サブコース. タイトル (使用する本のページ) ページ数	コマ 数	費用 (円)	内容 (キーワード)
L1. マトリックス解析-1 (99~112) 14 ページ	3	6,600	マトリックス法による応答解析-1 ; 運動方程式の 1 階表示、特性方程式の固有値、 具体的な固有値の求め方、固有ベクトル、正規座標、 任意励振に対する一般解、例題と演習
L2. マトリックス解析-2 (112~125) 14 ページ	3	9,900	マトリックス法による応答解析-2 ; 一般的な部分分数展開との比較、連成 2 階方程式 の場合、M 元 2 階方程式の 2M 元 1 階方程式へ の変形、M 元連立 2 階方程式の一般解、例題と演習
L3. 固有解析-1 (127~147) 21 ページ	3	6,600	保存系の固有振動数とモード形状 ; 保存系の固有振動数とモード形状の一般導出法、 固有振動数とモード形状の意味、保存系、無減衰自 由振動の例、背の高い煙突の曲げ振動の例、ディーゼル・ 発電機のねじり振動の例
L4. 固有解析-2 (148~166) 19 ページ	3	9,900	非保存系の固有振動数とモード形状の基礎 ; ディーゼル・発電機のねじり振動の例の続き、非保存 系、減衰のある自由振動の例、複素固有値と固有ベ クトルの解釈、背の高い煙突の減衰振動の例
L5. 固有解析-3 (167~184) 18 ページ	3	9,900	振動系と周波数応答関数の発展 ; 背の高い煙突の減衰振動の例の続き、鉄道台車の 運動のモデル化と定式化、鉄道台車の運動の固有値 と運動モード、運動の安定性と物理的な解釈、精度の チェック

* できれば、各自、オーム社、機械振動の解析と計算 D.E.Newland 著、清水信行訳、1992.
の本を購入して受講して下さい。

14. Mコース; 機械振動の応答関数理論と応答計算への適用 (初・中級)

機械振動の解析法の学習としてモード法と直接法による周波数応答関数の求め方と応答関数の適用法を学ぶ。これをもとに現場で遭遇する振動問題の解決に役立てる。

テキスト：オーム社、機械振動の解析と計算 D.E.Newland 著、清水信行訳 *
の本(p.185～300)を基に講師が作成。pdf file にて配布

各サブコース単体でも受講可能です。

Mコース サブコース、タイトル (使用する本のページ) ページ数	コマ 数	費用 (税 込) (円)	内容 (キーワード)
M0.特異および欠陥マトリックス (185～209) 25 ページ**	3	9,900	特異および欠陥マトリックスの固有値と固有ベクトル ; 特異質量マトリックス、特異質量マトリックスを有する 3 自由度系、零質量の座標を持つ系、多重固有値、 ジョルダンマトリックスと主要ベクトルの計算、多重固有 値を有するねじり系の例題、主要ベクトルについての説 明
M1.応答関数法-1 (239～256) 18 ページ	3	6,600	モード法による周波数応答関数 ; M 元連立 2 階微分方程式の一般応答、分割固 有ベクトルマトリックスの性質、周波数応答関数マトリッ クス、周波数応答関数の計算、ねじり系の周波数応 答関数、固有ベクトルマトリックスに欠陥のある場合の 周波数応答関数、数値例題
M2. 応答関数法-2 (257～273) 18 ページ	3	9,900	直接法による周波数応答関数 ; 周波数応答関数マトリックスを計算する別の方法、 インパルス応答関数マトリックス、例題;ねじり系のインパ ルス応答関数、固有ベクトルマトリックスに欠陥のある場 合のインパルス応答関数、マトリックス指数関数、一般 的な応答方程式への適用
M3. 応答関数法の適用-1 (275～287) 18 ページ	3	6,600	応答関数の適用-1 ; フーリエ変換、デルタ関数、畳み込み積分、単位ステ ップと単位パルス応答、例題; ねじり系のステップ応答、 時間領域から周波数領域への変換、数値例題
M4. 応答関数法の適用-2 (288～300) 18 ページ	3	9,900	応答関数の適用-2 ; 一般的な入出力の関係式、周期励振の場合、ディ ーゼルエンジンのねじり振動の例題計算

* できれば、各自、オーム社、機械振動の解析と計算 D. E. Newland 著、清水信行訳、1992.
の本を購入して受講して下さい。

** Mコースの内容を理解するためには、テキスト第6章の内容(未講義)が必須となります。これを補足するた
めの M0 コースを特設しました。

15. Oコース; 機械振動の離散応答計算と対称マトリックスを有する系 (中級)

機械振動の解析法の学習として離散フーリエ変換による周波数応答関数から時間応答関数を求める方法を学ぶ。振動現場によくあらわれる対称なマトリックスを有する系についてその性質と特徴を学ぶ。固有値と固有ベクトルの性質を学ぶ。軽い減衰のある対称系の時間応答と周波数応答を学ぶ。

テキスト : オーム社、機械振動の解析と計算 D. E. Newland 著、清水信行訳 *
の本(p.301~364)を基に講師が作成。pdf file にて配布

各サブコース単体でも受講可能です。

Oコース サブコース、タイトル 使用する本の章 (使用する本のページ) ページ数	コマ 数	費用 (税 込) (円)	内容 (キーワード)
O1. 離散的な応答計算 10 章 (301~325) 25 ページ	3	9,900	離散フーリエ変換、デルタ関数、畳み込み積分、単位ステップと単位パルス応答、例題; ねじり系のステップ応答、時間領域から周波数領域への変換、数値例題
O2. 対称なマトリックスを有する系-1 11 章 (327~346) 20 ページ	3	9,900	ラグランジュ方程式、例題: ラグランジュの方程式の適用、線形弾性系のポテンシャルエネルギー、微小振幅振動の運動エネルギー、微小振幅振動の一般方程式、対称なマトリックスを持つ系の特別な性質、三つの重要な定理、運動方程式の標準形、正定値マトリックスが常に逆マトリックスを持つことの証明、 $m^{-1}k$ に相似な対称マトリックスを見つけるための相似変換、 $m^{-1}k$ の固有ベクトル
O3. 対称なマトリックスを有する系-2 11 章 (346~364) 19 ページ	3	9,900	その他の直交性の条件、固有値が相異なる場合の直交性の別の証明、軽い減衰のある対称系の時間応答、軽い減衰のある対称系の周波数応答、インパルス応答と周波数応答のマトリックス、相反関係式、モードの切出し、計算上の特性、固有ベクトルのスケールリング、減衰の仮定、因果律の条件

* できれば、各自、オーム社、機械振動の解析と計算 D. E. Newland 著、清水信行訳、1992.
の本を購入して受講して下さい。